

表18. 質問5で「行政機関による情報提供」と回答した者における質問5-E-cの回答(複数回答)

		医療機関種別			合計(n=8)
		大学病院 (n=5)	市中病院 (n=1)	診療所 (n=2)	
パソコン(コンピュータ)	度数(%)	4(80.0)	1(100)	2(100)	7(87.5)
携帯電話、スマートフォン	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
タブレットPC	度数(%)	1(20.0)	0(0)	0(0)	1(12.5)
携帯型ゲーム機器 例)DS、PSPなど	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
テレビゲーム機器 例)Wii、プレイステ	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

表19. 質問5で「行政機関による情報提供」と回答した者における質問5-E-dの回答(複数回答)

		医療機関種別			合計(n=15)
		大学病院 (n=9)	市中病院 (n=2)	診療所 (n=4)	
診療している曜日・時間	度数(%)	1(11.1)	0(0)	1(25.0)	2(13.3)
診察、検査、治療などの待ち時間	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
医療機器等の設備	度数(%)	6(66.7)	1(50.0)	0(0)	7(46.7)
診療の内容	度数(%)	6(66.7)	2(100)	1(25.0)	9(60.0)
受けることができる検査や治療の詳細	度数(%)	3(33.3)	1(50.0)	0(0)	4(26.7)
診療実績(外来患者数、検査実施数)	度数(%)	2(22.2)	0(0)	0(0)	2(13.3)
医師の専門性や経歴	度数(%)	2(22.2)	0(0)	2(50.0)	4(26.7)
治療に要する平均的な通院期間	度数(%)	0(0)	1(50.0)	0(0)	1(6.7)
費用、支払い方法	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
安全のための取り組み	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
連携している医療機関や施設	度数(%)	0(0)	0(0)	1(25.0)	1(6.7)
院内の環境(アメニティ)	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	度数(%)	1(11.1)	0(0)	0(0)	1(6.7)

表20-1. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-aの回答
(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=64)
		大学病院 (n=37)	市中病院 (n=7)	診療所 (n=20)	
当院のホームページ	度数(%)	33(89.2)	6(85.7)	17(85.0)	58(87.5)
医師会のホームページ	度数(%)	0(0)	1(14.3)	3(15.0)	4(6.2)
口コミサイト	度数(%)	0(0)	2(28.6)	2(10.0)	4(6.2)
民間企業等が運営する医療機関のウェブサイト	度数(%)	5(13.5)	1(14.3)	1(5.0)	7(10.9)
その他	度数(%)	1(2.7)	1(14.3)	1(5.0)	3(4.7)

表20-2. 質問5-F-a「その他」の主な記載内容

大学病院	長女のパソコンによる情報
市中病院	よくわかりません。覚えていません。
診療所	病院検索ページ

表21-1. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-bの回答
(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=62)
		大学病院 (n=37)	市中病院 (n=7)	診療所 (n=18)	
検索サイト(Yahoo、Googleなど)	度数(%)	20(54.1)	5(71.4)	15(72.2)	38(61.3)
ソーシャルネットワークサービス(SNS): mixi、facebookなど	度数(%)	1(2.7)	0(0)	0(0)	1(1.6)
家族から聞いた	度数(%)	8(21.6)	0(0)	5(27.8)	13(21.0)
友人・知人から聞いた	度数(%)	5(13.5)	1(14.3)	2(11.1)	8(12.9)
病院、施設の相談窓口ですすすめられた	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
ポスターや看板、パンフレットなどの広告を見た	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
新聞、雑誌、書籍などを見た	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
テレビ、ラジオなどで見た(聴いた)	度数(%)	3(8.1)	0(0)	0(0)	3(4.8)
行政機関の窓口(市役所、町村役場、福祉事務所等)で聞いた	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	度数(%)	6(16.2)	1(14.3)	0(0)	7(11.3)

表21-2. 質問5-F-b「その他」の主な記載内容

	記載内容
大学病院	以前に来たことがあるため。
	家族がこの病院に通院していたから。
	地域の拠点病院だから。
	近所のため
市中病院	院内の他科に通院中のため。

表21-3. 質問5-F-bで「検索サイト」と回答した者における検索サイトでのヒット順位

		医療機関種別			合計 (n=25)
		大学病院 (n=12)	市中病院 (n=4)	診療所 (n=9)	
上位3位以内	度数(%)	7(58.3)	3(75.0)	5(55.6)	15(60.0)
	調整済み残差	-0.2	0.7	-0.3	
上位10位以内	度数(%)	5(41.7)	1(25.0)	2(22.2)	8(32.0)
	調整済み残差	1.0	-0.3	-0.8	
上位11位以降	度数(%)	0(0)	0(0)	2(22.2)	2(8.0)
	調整済み残差	-1.4	-0.6	2.0	
記載なし	度数	6	1	4	11

χ^2 検定、P=0.555

表22. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-cの回答
(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=63)
		大学病院 (n=36)	市中病院 (n=7)	診療所 (n=20)	
パソコン(コンピュータ)	度数(%)	32(88.9)	7(100)	10(50.0)	49(77.8)
携帯電話、スマートフォン	度数(%)	4(11.1)	1(14.3)	11(55.0)	16(25.4)
タブレットPC	度数(%)	1(2.8)	0(0)	0(0)	1(1.6)
携帯型ゲーム機器 例)DS、PSPなど	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
テレビゲーム機器 例)Wii、プレイステーションなど	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	度数(%)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

表23. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-dの回答
(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=63)
		大学病院 (n=36)	市中病院 (n=7)	診療所 (n=20)	
診療している曜日・時間	度数(%)	5(13.9)	1(14.3)	11(55.0)	17(27.0)
診察、検査、治療などの待ち時間	度数(%)	1(2.8)	0(0)	1(5.0)	2(3.2)
医療機器等の設備	度数(%)	3(8.3)	3(42.9)	1(5.0)	7(11.1)
診療の内容	度数(%)	20(55.6)	5(71.4)	9(45.0)	34(54.0)
受けることができる検査や治療方法の詳細	度数(%)	4(11.1)	3(42.9)	4(20.0)	11(17.5)
診療実績(外来患者数、検査実施数など)	度数(%)	0(0)	1(14.3)	1(5.0)	2(3.2)
医師の専門性や経歴	度数(%)	9(25.0)	1(14.3)	7(35.0)	17(27.0)
治療に要する平均的な通院期間	度数(%)	1(2.8)	0(0)	1(5.0)	2(3.2)
費用、支払い方法	度数(%)	0(0)	0(0)	1(5.0)	1(1.6)
安全のための取り組み	度数(%)	1(2.8)	0(0)	0(0)	1(1.6)
連携している医療機関や施設	度数(%)	1(2.8)	0(0)	0(0)	1(1.6)
院内の環境(アメニティ)	度数(%)	0(0)	0(0)	2(10.0)	2(3.2)
検索サイト(Yahoo、Googleなど)でヒットした順位が上位である	度数(%)	0(0)	0(0)	1(5.0)	1(1.6)
その他	度数(%)	4(11.1)	0(0)	2(10.0)	6(9.5)

表24. 質問6-aの主な記載内容

大 学 医 院	テレビ、新聞
	スマートフォン
	ホームページとか普段利用しないのでわかりません。身近の医師より情報を伝えてもらうことしか考えつきません。
	インターネット(例:咳の原因等。何故起こるか。)
	特になし
	各検査後、診察を受け、結果を聞くことができること。
	車両運転の際、カーナビを使います。カーナビ(道順)のどこかに総合診療の利点が告知できないか。CMベースでも可。
	医師から結果提供して欲しい。
	インターネット上のWebページ(スマホでの閲覧重要)
	インターネットHP、スマートフォンHP
	インターネット
	ネット、携帯
	テレビ等で情報提供して欲しい。
	ダイレクトメール
	新聞、雑誌、書籍、インターネット(パソコン、スマホ)。GM～踊れドクター～のようなドラマを作る。ドクターGのような番組。
	携帯、スマホを利用した案内(院内)。例)IDとスマホを連携し、待ち時間予測、お知らせ
	公報、ホームページ
	今後もテレビ情報を期待しています。
	「テレビ」ドクターGのようなカンファレンスの状況を放映。
	インターネット。診療所医師へ情報提供とポスター。
	ホームページ、本、メディア
	テレビ、新聞、HP、保健所、かかりつけ医からの紹介
	国立病院かと思えますので、出来ましたら公共機関等にパンフレットないしチラシなどもあれば良いです。
	ホームページ、携帯アプリ
	インターネットホームページ、携帯サイト
	書面
	インターネット(病院ホームページ、facebook、メーリングリスト)
スマートフォンやタブレット用のページやサイトでの提供。	
特にありません(今のままで十分)。	
インターネット又は新聞	
他の病院でのCT、MRI、レントゲン等の撮影を共有できるインターネットの活用をお願いしたい。	
自分の病歴などがネットで全て分かる。1枚のカードで全ての病院の診察カードになるようになって欲しい。	
携帯電話で見れるホームページ	
テレビで初めて総合診療部なる部署を知った。もう少し宣伝しても良いのでは。病院間の情報交換を積極的にして欲しい。	

	テレビ、ラジオなどで誰でも聞けて、見れるものでの放送を多くして欲しい。
	今のままで良いと思う。
	ホームページが充実しており、初診でも安心できました。
	今のとこ他にないので、携帯電話(ネット)。
	千葉テレビで毎週紹介して欲しい。
	DM(これくらいしか情報得る手段がない)。
	HPのわかりやすい位置での表示(新しい情報など見つけやすいと)。
	テレビ、インターネット
	千葉大のみでなく、他の医療機関の情報を統合検索しやすいサイトの構築。様々な医療情報が簡易に入手できるようにしてもらえるとありがたい。
	ホームページでのネット予約(予約手段を電話だけでなく、ネットでできるようにする。または、予約状況をネットで見れるようにする)。
	新聞
	インターネット、各種病院の一般公開情報として公開、知らせる。あるいは、各種病院に一般公開小冊子情報として置く。
	インターネット、市広報
	できる限り詳細に紹介していただきたい。
	症状を言えば、どこの医療機関が近くにあるか教えて欲しい。
	ホームページもいいとは思いますが、お年等でパソコンをさわらない方には、市政だよりに詳しい事を載せるといいと思います(定期的に)。
	メールでのやりとり。
	病院側に先に紹介状を送って目を通してもらえば診療時間の短縮になると思います。
	郵送
	新聞、本
	テレビ等に詳しく説明して欲しい
	ホームページを通し、情報入手させて頂けますし、又、質問や提供して戴きたい情報も依頼させていただけるかと思えます。
	病気のこと、その予防についてなどが書かれた無料パンフレット(小冊子)。これまでも病院、薬局に置かれているものを続けていただきたい。
	テレビでもネットでも何でも良いと思います。皆に伝わるようくり返し提供してほしいです。
	実際に利用したのですが、ホームページが受診に際しても役立ちました。
	口頭
	医療機関の間での情報提供伝達手段を簡単にして欲しい。
	文書や冊子など。
	電子データ(フォーマットが一般的なもの。ex)txt, jpg, pdf, csv等)。officeのように特定のアプリケーションに依存するものは、プラットフォームによっては使えない事がある。
	広報、市のホームページ、TVCM
	自分のカルテ内容やレントゲン写真をスマホ、PCで閲覧したい。
	携帯からの項目入力による受診案内
	パソコン、スマホが出来ない人たちもいます。市の広報などで(総合診療科があることを知らなかった)
	ネットでの混雑状況

ネット、テレビ、ラジオ等により広報で。
パソコン、タブレットパソコン、携帯、スマートフォン。年配者向けには新聞、ポスター。市町村(行政)の広報。
病状の詳しい内容。診察後の手段。
テレビ等
友達から千葉では千葉大が良いと聞いています。
自宅のPCへのメール
大学病院のホームページ。
携帯用のHP(スマホ、PC用のHPだけでなく)
メディアで発表して下さい。
インターネット。保健所や医療機関に冊子を置く。
テレビ、インターネット(パソコン、iPad)
かかりつけ医から聞く
私の年代では、主に新聞ですが、あらゆる手段。
オンライン情報(患者は手ぶらで紹介先に行けるよう。再度、問診表なども記載しなくて済む)
インターネットのHP 医療機関紹介誌(マイホスピタル等)* 院内外来や病棟に設置する小冊子類のように誰でも手軽に利用できるよう。
市民情報新聞等
テレビ、ラジオ、個人宅のポスト投函
インターネットのホームページを最初に調べるので、そこに情報が集約されていると便利です。
新聞(全国紙)の千葉版。インターネット上のホームページ。
パンフレット
ホームページ。
特になし
①専門雑誌(病院選びについて) ②インターネット(ホームページ):インターネットを使用できない高齢者等の為、又は、一般的広範囲に情報を得る為、市政だより、県民たより等、広報にも、情報をのせてほしい。 ③口コミ
各地元の病院や医院でパンフレット等、自由に見れる、あるいは貰えば助かる。IT機器を全く使えない年齢層の人もいるので、アナログ式(活字、DVD等)での情報。例えば図書館と連携するのも良いと思う。
わかりません
千葉大に来院している人だけでなく、一般の人達にも総合診療部が設置されていることを知ってもらえるようにした方が良いと思います。私は千葉大に何度も来ていましたが、この科のことをよく知りませんでした。病院の入口や各科のベンチの前などに大きいパンフレットや、どのような悩みに応えてくれる科なのかをパッと見てわかるようにするのいいと思います。病名で検索をすると、その病名で有名な病院にヒットすることがあります。しかし千葉大はあまりヒットすることがありません。
インターネット環境に頼らない手段。紙媒体の手段。
インターネット、スマートフォンでの検索
テレビ
県の広報等で提供頂ければと思います。
パソコンを使えないので情報提供は新聞・週刊誌等を読む事位しか出来ません。
テレビ。インターネット(病院のホームページ)。新聞。

大 学 病 院	PC検索サイト
	インターネットにて担当医の紹介があると良い。
	千葉大学付属病院のホームページにより様々な情報が得られることを願っている。
	HPの充実&提供している情報の広報手段(例:他大学と連携し同様な部、科の紹介等)、他の機関(大学・病院)との広報の充実
	eメール、HP等
	手軽に見る事が出来る(千葉県だより等に)。科別の先生がコメント的に出してくれるといい。
	NHKで病院の電話番号、予約の仕方
	メルマガ
	今の現状で良いと思います。
	携帯電話のメール
	更なるネットの活用
	パソコンを使えない高齢者向けの何か。(かかりつけ医から教えてもらう等)
	テレビ、ネット(ツイッター等も見えますが…)
	・インターネット…目的が明確なら便利だが、そうでないとほしい情報になかなかたどりつかない。 ・本 ・テレビ…とても便利だが「あ！」って思った時には番組が進んでしまっている。 →ケーブルテレビなどの病院紹介チャンネルなど
	市の広報等、インターネットではない、アナログ手段
	ネット等、TV、CM
	公報(県民だより等)、TV
	院内に患者さんが自由に見れるパソコン、携帯等へのHP情報
	インターネット、SNS、LINE
	近くのクリニックに大病院のことをピーアールする(診療科etc) パンフレットが欲しい。
	自由に手にとれる。フリーペーパーなど。
	書面の郵送
	大学のWEB上(ホームページ)。千葉市の広報など(市政だより等)。
	何度もレントゲン検査を受けなくてもすむ様に、データやレントゲン画像をUSBなどで共有して渡して下さると良いのでは。
	テレビ、ラジオ、新聞、ダイレクトメール
	せめて県内だけでも患者の情報が病院間で共有できるとよい。(ネットワークの利用)例えば、病院を変える度に何度も同じCTを撮影されるのは身体的・経済的にも負担。
・市の広報に掲載する ・わかりやすく ・救急の医療態勢がよくわからない	
スマホでも見られるサイト	
近 畿 中 心	インターネット(HP)、新聞のちらし
	テレビのデータ放送
	簡単な症状毎の対応する診療科のガイド(パンフレット)
	土、日、休日での他病院への紹介
	特になし。
	現状で十分です。
インターネット、携帯等でもっと情報を知ることが出来ると助かる。	

市中病院	ホームページ。リーフレット等印刷物。
	テレビ、インターネット
	携帯へ連絡情報があると良い(順番)
	メールマガジン
	インターネットのホームページの内容を良いものへ充実させて欲しい。
	市の健診で
	かかりつけ医は内科なので、他の科を受診する際に「この場合は何科なの?」と悩むことがあるので、病院のホームページ等でわかりやすい情報があると助かります。
	メディアはやはりインターネット
	ICカード(診察券)等による磁器情報
	なし
	PCなどでの手軽な診療
	パソコン等によるインターネット
	インターネット
	市役所HPに掲載
	携帯・パソコン等
	インターネット、スマホ版。
	携帯電話、iPhone。
	会社の健康保険組合発刊の定期刊に紹介ページがあると便利。(目を引く)
	インターネット(病院ホームページ)
	新聞
1、インターネット 2、木更津市役所や近くの公民館 3、町内会の回覧板	
診療所	地域新聞、市などの健康福祉まつり
	携帯
	どんな検査を行ってもらえるか。何日ぐらいかかるか。
	インターネット
	特にない
	パソコン
	iPhone
	ホームページの充実。
	どの病院が(医師が)どんな分野が得意なのかというのは口コミからでないと分からないので、ネットとかで子供の病状などをクリックしたらこの症状ならこの病院がおすすめといった感じで、地域の病院がヒットするサイトがあれば良い。
	インターネットはもちろん、地域の情報誌などに定期的ののせる。
	携帯電話で見れるホームページ
	各医療機関の専門の病院などの掲示板などがあれば、目で情報が見れ、年配の方には安心できるのではと思います。
	新聞等のメディア
	パソコンからの症状等。
病院のパンフレット(簡単なもので可)。	

診療所	若い人たちはインターネットや何かで情報を得られるが、すぐに病院にかかりたいとか、ネットを使わない世代にもわかりやすい提供手段を考えて。 また、緊急でも受け付けてもらえるか、救急車を呼ぶほどではないが、いつでもみてもらえるか知りたいときがある。
	PCによる細かい情報(診療内容、Drの紹介(写真付き)等)。
	HP
	パソコンなどのホームページ。パソコンなどを使用しない高齢者宅などにはやはり情報紙の提供が必要ではないか。
	ちらしなど(冊子など手にとって読めるもの)。
	インターネットなどパソコンをできない人のために情報を工夫して欲しい。
	タウンページ、インターネット。
	携帯から待ち時間がわかると良いと思います。
	「NHKの今日の健康」の様なレベルでの”薬”に関する情報があれば助かる。テレビ及び冊子両方あればよりgood!!
	近隣の大病院、開業医とのネットワーク構築
	混んでるとき、メールや電話などで混み具合など自分の順番がもうすぐですとか知らせてくれると。
	地域広報
	メルマガ、ホームページ等
	郵送
	古くから診療しているので安心している。今後も診療は受けるつもりだが、自分の身体の全てのことを知っているし、報告もしている。今後も同じようにする。問診時に聞いたりすることが多いので、知りうる限りの情報は必要と考える。
	文書で
	特になし
	インターネット。郵送。
	ネット、地域新聞
	インターネットやスマホのアプリ等の個人携帯端末
	パソコン。スマートフォン。
	年なので口コミとか。地域の呼びかけ等。
	市役所で相談(病気について)したら病院の情報がわかる様なら助かる
ホームページ(行政等)	
スマホ・PC・・・ホームページ。電話帳。	
パソコンとスマホは両立してほしい。地域の病院情報紙があると便利。	

表25. 質問6-bの主な記載内容

	診療の待ち時間、人数など分かるというと思う。
	同じような症状の方の改善方法等。
	・診療科についての説明、受付時間(何時から開いているか) ・新しく導入した技術、設備等 ・駐車場の問題について ・地域医療について
	特になし
	各病院で診察できる科目。大学病院や大きな総合病院のマップ図。
	患者が勝手に自分の症状で病名を決めてしまい一喜一憂するのはいけないことかと思っています。でもこのような症状の時には、〇〇科や〇〇科にいてみましょうと言ってくれるようなところが欲しいと思っています。
	診療科の種類、予約の有無、診療時間、受付時間、住所、所在地、地図、電話番号、交通手段、受診に必要な事柄。
	病院の混雑状況(待ち時間など)。薬の内容の解説。病院毎の強み・得意分野・実績。
	専門 特にすぐれている分野
	同じ病気域は同じ症状の共通点と治療についての注意すべき情報
	新しい薬や治療方法です。
	具体的な予約方法病院のホームページに現在の予約状況をのせてほしい。
	受付待ち日数&時間
	事例
	医師の専門性。治療方法(薬・取り組み方など)。
医 療 科 大	紹介される時に事前に紹介する病院についての情報。受診する際の手続き内容(初診手続き)
	ドクターの専門、特に何を得意としているか。また患者としては、病気(主なる)の説明。千葉大の病院が、大学病院として、特に何の病気の治療に力を入れているか。
	中高年に多い病気、及びそれへの対応方法等。また、どこの医療機関へ行けば良いか等。
	病気に対しての知識
	最新情報
	症状に対するより専門的な知識
	医師の治療実績
	医師の経歴、資格、医療に関わるに当たっての考え方、医師を選ぶのは患者の権利、信頼出来る医師に診て頂きたい。
	インターネットからの予約
	症状の例等、具体的なもの、その治療方法の紹介
	ホームページで前日までに予約状況を提供してほしい。
	血液検査や尿検査の結果の共有
	・診断料について ・総合診療の重要さ等
	混雑予測(1年前の同日の受診状況等)。混雑の時間帯。
	病院の診断資料の個人への提供
	・症状から受診する専門科やその科がある病院。 ・受診前にチェックしておく事が望ましい等。例えばここ1週間の食事、便の状態(色・量)。1日分なら簡単ですが、質問のされ方にもよりますが、思い出せない事や、日付が前後するので、事前に伝えるべき事を整理しておくというもの。 ・科別の評価 ・設備の比較表 ・実績(問題があった場合はその改善の取扱いなど)

聴 取 大	症状に対する受診科の明確化
	症状に対する対処法や、対応するとよい医療機関等に関する情報
	①どの診療科が予約が必要であるか、受付におよそどのくらい時間がかかるか等 ②各科の予約状況、キャンセル待ち等の情報が自宅のパソコンで解る様にして欲しい(申し込み可能な日が解る様に)
	自宅近隣の総合診療科のある医療機関名
	連携している医療機関。医師からの実績と専門性の連帯性。
	交通手段の(バス・JRなど)時刻表が携帯で検索出来るようにして欲しい。
	症状ごとの受診料
	・病気の予防方法 ・健康診断の検査結果の見方 ・職員募集案内
	待ち時間の緩和できる事、方法
	・薬の副作用 ・予防接種の副作用
	予約状況、混雑情報、健康ひとくちメモみたいなもの。実際の事例、こういう症状だとこういう病気で、こう治療したといった内容は便利。
	婦人科系の情報をメールで提供して欲しい。
	様々なアレルギー症状に対する情報が欲しい。
	各診療部における実績等
	年齢的に特に予防について(様々な病気に対して)
	検査・治療の方向性。
	診察結果。治療を必要としない場合はインターネット・郵送等で。「異常なし」の結果を聞くために何時間も待たされた事があるため。
	術後ケア
	予約者数
	最新治療方法や、他施設への紹介状況
	病気一般に関しての情報は凡人には大変役に立ちます。今後とも、機会があれば是非お願い致します。
	PET検査での後遺症。1ヶ月以内に数回受けても大丈夫か？(私は足のPET検査2日後に足のレントゲンを撮った後、足に打撲したような紫色にはれあがりました。)
	様々な症状の特徴と治療法、当院での治療ポイント(膨大な量となり無理だと思うが)。今回の症状は様々な検索したが合うものに巡り会えなかった。
自分の症状についての診断結果について、その診断結果に至った過程を教えてください。	
病気よっての食事など、町の医者は何も教えてくれない。	
血液検査の結果等、病院によってはコピーを病院で保管し原本は返してくれるが、端的に「何でもありませんよ。」と言われるのは不満。数値等、患者は意味も分からないのだからきちんと説明してほしい。	
症状等が生じた場合、医者に行く前にチェック出来る(病気ではないかと思う)Q&A等の情報を。	
受診前の簡単な自己診断ツール。自己採点 何点以上なら受診すべきである等。又、その結果が受診時情報に直結すると問診が充実するのでは？	
正しい情報。普通の人には医療系の本は高いのでなかなか手がのばせない。間違ったことを素人の人が本当のこの様に書いてインターネットに載せてしまうので、正しい情報が欲しいです。	

大学病院	症状からどの科を受診したらいいのか自分でも判断できるといいです。皮膚科、内科と診断がつかず、次にどこへ行ったらいいのかわからないので困りました。痛み止めももらえないので熱や痛みに耐えるのが大変です。整形へ行ってMRIで調べてみようとも考えたのですが、これ以上診察券を増やして不安をかかえるのもどうかと思います。ネットであらゆることを調べて頭の中がごちゃごちゃになりました。総合的に診断してくれる病院がもっとあれば良いと思います。
	治療方針、患者の評判がHP上でかきこめるようになっているとよいと思います。
	通院・処方日時。処方箋の内容。
	なし
	目安が良いので何時までに受付をすませば診察できるかわかりやすくしてほしい。
	診療機器等の使用に関する項目
	病気の症状などの注意の情報
	ネットで問診と同じものを出来るとか。 (事前に調べて用意出来る)
総合病院	各病院・診療所の開院日、時間。
	病院の混み具合。自宅からの診察予約。
	診療時間案内、現在の混み具合。
	検査予約待ち状況。新規検査施設利用開始(計画)等。
	Q&A形式の分かりやすい情報提供(フローチャート式の)
	救急時対応。
	診察の待ち具合をネットで分かるとよいと思います。(ディズニーランドの待ち時間のような)→社会人は平日だと特に待ち時間が気になります。
	症状別の診察科の紹介、Q&A
	待ち時間の状況。勤務中の医師の名前。
	診療の具体例。待ち時間等。
	担当医師。料金。
	待ち時間、実績
	夜間、深夜の当番医院
	研究成果やopeがどれくらいまで行われているか。
	1、各病院の具体的な診療実績と専門医(科名)の具体的な紹介。(手術の数/成功数=成功率) 2、各病院の診療科と予約の有無、スケジュール。
診療所	特になし
	薬について(ジェネリック薬)
	薬価について
	FAQ(よくある質問)や症例、自覚症状など参考になりそうなもの。
	認知症・デイサービスの利用に関するもの
	流行の病気、対策、初期対応等
	待ち時間について
	症例・経験
	病院同士でこの病気は「～病院」の「～医師」が専門的に扱っている、といったような情報を患者に提供してほしい。
	患者さんの口コミ
医師に自宅の医院(町医者)	

診療所	得意科目
	診療内容
	何度も病院に行けないので、判断になる情報

表26. 質問7の主な記載内容

医 薬 社 大	個人情報
	わからない
	特になし
	医療にかかわる周辺情報、日進月歩だと思われるので。
	診療するにあたり、紹介状が必要である事を周知させる必要がありそう。
	その広報によって、個人が特定されることがないこと。 広報が「男女共同参画社会」の形成に配慮をしていないということがないように。
	感染症の流行状況等。
	病気の症状や治療期間等
	難病等。流行病。
	薬の効果、使用方法等
	特別な症例な病気の患者さんの症例を使用する際、個人が特定される事が無い様にして頂きたい。
	テレビやネットからの第三者からの情報を見聞きする事が多く、病院からの広報は、HPLしか分からないので、何を慎重にすべきか判断する事が難しい。
	個人名が分からないようにする事は必要かと思割れます。
	・事例(症例)件数、難易度や全体の症例数など比較や検討の判断が出来ない状況での「経験あります！」みたいなもの。 ・実際には受診が難しいのみスーパードクターを広告するようなもの。
	子宮頸癌ワクチン等の、まだ被害があるかないか分からないもの。
	症例写真等の顔掲載
	リスク等も公にして欲しい。
	症状が起こるまでの過程における名前等の実名や、既往症でかかった病院等
	医師の視点から見た病院の評価の情報。
	病歴、病気に対する患者の考え、意思
	特になし。 もっとオープンにすべき。
	私は広報はオープンにして、もっと積極的にするべしとの考えを持っているので、特にありません。
	個人を特定できるような症例
(逆にすべきもの) 当院は会社ぐるみで詐欺行為を行ったディオバンは処方していません等、病院の姿勢を表すもの。	
最新情報(最新医療技術)についてのリスクとベネフィットはきちんと示して欲しいですね。マスクミなどでは、最新技術が伴わない医療機関にマイナスイメージを持たせてしまう報道が多すぎる。病院からの情報は常に中立であってほしい。ただし、自院のアヒルに問題があるとは思いませんが。	
精神病関連	
個人情報管理の徹底をお願いいたします。	
医 薬 社 中 七	特になし
	アレルギー
	今のままで良いと思う。
	院内感染が疑われる場合など。

院 中 把	流行性の病気、家庭での初期対応の仕方など。
	医療ミスや医師の経歴等は慎重にすべきだが、必要な情報であり、ミスなどを責めるのではなく、広く共有情報として各種のミスを防ぐことが大切であろう。
診 療 所	特になし
	臓器提供
	公共の利益になるように活用して下さい。
	社会的・地域的に偏見を持たれていると思われる病気の広報については慎重に扱うべきだと思う。
	個人のプライバシーに関する情報

表27. 質問4の回答(年代別解析)

		医療機関種別			合計 (n=1121)
		34歳以下 (n=255)	35～64歳 (n=511)	65歳以上 (n=355)	
医師のすすめ	度数(%)	112(43.9)	203(39.7)	183(51.5)	498(44.4)
	調整済み残差	-0.2	-2.9	3.3	
ご本人の意思	度数(%)	84(32.9)	202(39.5)	115(32.4)	401(35.8)
	調整済み残差	-1.1	2.4	-1.6	
家族のすすめ	度数(%)	35(13.7)	71(13.9)	39(11.0)	145(12.9)
	調整済み残差	0.4	0.9	-1.3	
知人・友人のすすめ	度数(%)	24(9.4)	35(6.8)	18(5.1)	77(6.9)
	調整済み残差	1.8	0.0	-1.6	

χ^2 検定、P=0.016

表28. 質問4-Aの回答(年代別解析)

		医療機関種別			合計 (n=498)
		34歳以下 (n=112)	35～64歳 (n=203)	65歳以上 (n=183)	
かかりつけ医	度数	57(50.9)	107(52.7)	107(58.5)	271(54.4)
	調整済み残差	-0.9	-0.6	1.4	
かかりつけ医から紹介された 医師	度数	16(14.3)	26(12.8)	14(7.7)	56(11.2)
	調整済み残差	1.2	0.9	-1.9	
かかりつけ医以外から紹介さ れた医師	度数	10(8.9)	14(6.9)	13(7.1)	37(7.4)
	調整済み残差	0.7	-0.4	-0.2	
今回の症状について相談する ために紹介状なしで受診した 医師	度数	21(18.8)	39(19.2)	33(18.0)	93(18.7)
	調整済み残差	0.0	0.3	-0.3	
紹介状を書いてもらうために 受診した医師	度数	2(1.8)	2(1.0)	4(2.2)	8(1.6)
	調整済み残差	0.2	-0.9	0.8	
その他	度数	6(5.4)	15(7.4)	12(6.6)	33(6.6)
	調整済み残差	-0.6	0.6	0.0	

χ^2 検定、P=0.768

表29-1. 質問4で「医師のすすめ」以外を選択した者における質問5の回答(全体)(年代別解析)

		医療機関種別			合計 (n=623)
		34歳以下 (n=143)	35～64歳 (n=308)	65歳以上 (n=172)	
病院、施設の相談窓口ですすすめられた	度数	8(5.6)	21(6.8)	14(8.1)	43(6.9)
	調整済み残差	-0.7	-0.1	0.8	
ポスターや看板、パンフレットなどの広告	度数	2(1.4)	6(1.9)	0(0)	8(1.3)
	調整済み残差	0.1	1.5	-1.8	
新聞、雑誌、書籍	度数	3(2.1)	3(1.0)	5(2.9)	11(1.8)
	調整済み残差	0.3	-1.5	1.3	
テレビ、ラジオなどの番組	度数	17(11.9)	56(18.2)	34(19.8)	107(17.2)
	調整済み残差	-1.9	0.7	1.1	
行政機関による情報提供	度数	3(2.1)	12(3.9)	3(1.7)	18(2.9)
	調整済み残差	-0.6	1.5	-1.1	
行政機関以外のホームページ	度数	17(11.9)	35(11.4)	12(7.0)	64(10.3)
	調整済み残差	0.7	0.9	-1.7	
かかりつけ医である	度数	26(18.2)	38(12.3)	32(18.6)	96(15.4)
	調整済み残差	1.0	-2.1	1.4	
自宅、職場から近い	度数	45(31.5)	71(23.1)	38(22.1)	154(24.7)
	調整済み残差	-2.1	-1.0	-0.9	
特にない	度数	8(5.6)	21(6.8)	7(4.1)	36(5.8)
	調整済み残差	-0.1	1.1	-1.1	
わからない	度数	5(3.5)	18(5.8)	11(6.4)	34(5.5)
	調整済み残差	-1.2	0.4	0.6	
その他	度数	9(6.3)	27(8.8)	16(9.3)	52(8.3)
	調整済み残差	-1.0	0.4	0.5	

χ^2 検定、P=0.172